

## 会員の近況報告 1

会員名：有田貞一 出身：機械工学科 S41 年学部卒  
技術士（機械部門）、兵庫県技術士会所属



卒業後、ある化学会社に入社し、約 30 年間石油化学工業（アンモニア製造、水素製造、高圧ポリエチレン工場の建設）、コークス工場、プラント建設工事（製薬プラント、石油精製工場、半導体関連装置の製造）などに従事した。そして 52 歳の時に、独立し、有田技術士事務所を始めた。

自営業として、本当に多忙な毎日であったし、来る仕事は一つも断ることなく、全力で引き受けた。4 人の子供たちの下の 2 人はまだ中学生と小学生だったので、生活のために仕事を断る余裕などなかったのである。独立の契機は、会社が打ち出したセカンドライフプランニングという制度の応募したことである。バブル崩壊後のリストラの嵐が吹き荒れる初期のころのことである。同期入社は、123 人であったが、この制度に応募したのは 2 人だけであった。もう一人は、東大の応用化学出身の方で、国際特許の専門家であったので、めしの種は持っていたが、私はこれという特徴もない何でも屋であった。

何でも屋であるという事実を逆に解釈して、何でもやれるという風に置き換えて、どんな仕事でも引き受けた次第である。どんな難問でも全力投入すれば解けるのである。

もう一つの目標もあった。それは国際人として活躍してみたいという夢である。おかげで、韓国、台湾、インドネシアなどにも出張する機会が与えられ、わたしの世界は大きく拡大した。そして私なりに、国際人とは何かということを考えた。私はお茶の水聖書学院で、約 35 年間聖書を学び、牧師としての歩みも同時にこなしてきた。言わば二足のわらじということである。聖書の中で、使徒パウロという人が「すべての人を自分よりも優れた者と思いなさい」と言っている。新約聖書 27 巻中の約半分を書いたパウロのことばである。しかもパウロは当時、最高級の教育を受けた知識人である。このことばを実行できれば、私のような者でも国際人になれるのではと考えた次第である。おかげで、このことばの実行のおかげで、海外でお付き合いした方々と友情を築くことができた。水木しげるさんは戦中ニューギニアで片手損傷という重傷を負った日本兵で戦後ゲゲゲの鬼太郎という漫画作家で活躍した人であるが、戦後、何度も現地を訪れ、現地の人たちと友好を温めたとのことである。彼には人を尊敬する心があったのである。私も微力ながら、パウロのことばの真似事のような気持ちで仕事に携わってきた。結果的には、幸いな楽しい思い出が沢山できた。国際人であることは、相手の人を尊敬することである。

1996 年から 2020 年までの約 25 年間における総収入は 2.56 億円、顧客数は 42 社になった。また、ある先生のご指導の下に、編集者として本の出版のお手伝いをしている。2017 年に「聖書ヘブル語原典入門」（いのちのことば社）はすぐに完売し、アマゾンで約 10 倍の値段（4 万円）で売り出されていたが、今は絶版である。また 2021 年 6 月に（社）聖書検定協会から「はじめての聖書のギリシア語」を出版した。そして来春にはこれの姉妹版「はじめての聖書のヘブライ語」が出版予定である。

皆さんと友好を深めたいと願っています。下記にご連絡ください。心からお待ちしています。

〒662-0826 兵庫県西宮市門戸岡田町 8-1 電話&FAX:0798-77-5290

携帯:090-9009-6590 E-mail: [arita.t.pe@gmail.com](mailto:arita.t.pe@gmail.com)

有田貞一